

## 岩手県野田村の支援・交流活動報告（2013年12月26～27日）

今回の活動は、野田中学校の要請を受けて、一泊二日の学習支援活動でした。野田中学校では、年に三回の長期休み（春、夏、冬休み）のはじめに、自主勉強会を開催しているようです。今回は自主勉強会のアシスタントとして、お誘いをいただきました。副校長先生の話によると、野田村では民間の学習塾がなく、また震災の後には仮設住宅で生活している生徒が多く、長時間集中して勉強する環境が不十分な状況だそうです。そのため、今回のような勉強会が大変重要な役割を果たしているとおっしゃっていました。

また、野田村ではお兄さんやお姉さんたちが大学に進学するためには、村外に出なければならぬので、大学生のお兄さんやお姉さんとお話をする機会も多くないようです。なので、校長先生からは勉強だけではなく、大学での生活や楽しいことなども話してくださいという要望がありました。

今回の合宿に参加したのは、理工学部2名、農学生命学部3名、人文学部の留学生1名、引率教員1名の7名でした。10時からの勉強会に間に合わせるために、弘前を6時に出発しました。学生の皆さんは気合が入っていて、集合時間前には全員揃っていたようです。恥ずかしながら、定刻前に到着したにも関わらず、教員の自分が一番遅かったようです。



学習支援の様子

9時過ぎに野田中学校に到着すると、校長先生と3年生の担任の先生が我々を迎えてくれました。校長先生からの挨拶と担任の先生の簡単なオリエンテーションの後、早速教室に入りました。中学校での活動は初めてだったので、支援する側も受ける側もかなり緊張していたようです。自己紹介の後、各自それぞれの方法で生徒さんに近づいていきました。

生徒から声がかかるまで待っていた学生もいれば、自分から積極的に声をかけていた学生もいたようです。中には、「筆箱、可愛いね」とさりげない話から入って、「なんの勉強しているの？」「歴史か？覚えるの大変だね」と上手にコミュニケーションを取りながら、質問などを受けていた学生もいたようです。一時間も過ぎると、徐々に打ち解けていって、大学での生活に関心を持つ人や、雑談をしながら質問をする人など、それぞれ楽しんでいました。2時間の勉強会はあっという間

に終わりました。



児童クラブでの活動



振り返り反省会の様子

午後からは、いつもの児童クラブに出向きました。児童クラブの子ともたちには来ることを知らせていなかったの、ちょっとしたサプライズだったようです。ドアを開けて入ると、「わーい！」「やった！」という歓声も、「どうしたの」と戸惑う子供たちもいました。ただ、驚くのは一瞬で、次の瞬間から「肩車して」、「一緒に遊ぼう」と手を引っ張っていて、いつも以上に元気一杯でした。児童クラブでは、夕方まで目一杯遊んだようでした。

夕食の後は、振り返りと反省会を開きました。振り返りでは、生徒さんたちの様子や、なかなか最初はコミュニケーションを取るのが難しかったなど、少し弱気な声が多かったです。しかし、中には、「このように話しかけたら反応が良かったよ」と良かった点などを話してくれる学生もいました。また、一日目うまくいかなかった学生も、明日からは積極的に自分たちから声掛けをしようと決心を新たにしていました。また、定期便での学習支援のやり方を見直そうという建設的な話もありました。中高生のためのカフェのようなものを検討しようという声でした。積極的に実施方法を検討してみたいと思います。



副校長先生を交えて振り返り



一年間の感謝を込めて、年賀状をお渡ししました。

二日目は、初日よりスムーズに生徒の中に入れたようです。昨日の反省点を活かして、上手にコミュニケーションを取っていました。教室では、5~6人のグループに分かれ、それぞれのグループに学生が1~2名入って、質問を受けたり、一緒に問題を解いたりしていました。中には、学生が問題を解くのに苦労していると隣にいた生徒さんが、「これですよ」と助け船を出したりしていました。先生と違って、大学生のアシスタントだからこそ、見られることで、助け船を出してくれた生徒さんも、一緒にいた学生もとっても嬉しそうでした。ボランティア支援ならではの雰囲気だったと思います。お別れの際には、生徒さんから「ありがとう」、「また、来てね」と声をかけられていました。

最後は、副校長先生を交えて振り返りを行いました。支援に参加した学生からは、「一日目よりはコミュニケーションが取りやすかった。」「教えることの楽しさを味わうことができました。」「とっても楽しかったです。」など、充実した時間を過ごしていたことがうかがえました。副校長先生からは、「皆さんと一緒に過ごした時間が生徒たちにとっては貴重な経験となったと思います。是非、継続できることを期待しています。」と温かい言葉をいただきました。早速、来年3月の自主勉強会の日程調整を行いました。

今回の活動は、活動の場所が野田中学校であったことや、一泊二日の合宿で行ったことなど初めてづくしの活動でした。二日間を通して、生徒さんたちとの距離が変化していくことや、ボランティア同士の距離が縮まる様子など、様々なことが見られました。今回の二日間は、野田村の中高生への支援について、真剣に悩み続けた二日間でした。いろいろと議論した内容をどのように実現するかをより具体的に検討し、次回の活動から実施してみたいと思います。野田中学校の生徒さんにとってもボランティアの学生の皆さんにとっても、有益な二日間だったと思います。

(担当:李永俊)